

## 2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年2月13日

上場会社名 パスロジ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4426 URL <https://www.passlogy.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 秀治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 光野 元彦 TEL 03 (5283) 2263  
 中間発行情報提出予定日 2023年3月30日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第2四半期の業績 (2022年7月1日~2022年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	172	△19.1	27	△38.2	32	△34.6	37	△19.1
2022年6月期第2四半期	213	0.3	44	△40.2	49	△37.1	45	△4.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	18.57	—
2022年6月期第2四半期	22.96	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期第2四半期	666	407	61.2	203.80
2022年6月期	663	393	59.3	196.93

(参考) 自己資本 2023年6月第2四半期 407百万円 2022年6月期 393百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2023年6月期	—	0.00			
2023年6月期 (予想)			—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2023年6月期の期末及び合計の配当金額は未定であります。

### 3. 2023年6月期の業績予想 (2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	426	4.4	49	△32.7	41	△51.9	27	△64.4	13.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期2Q	2,000,000株	2022年6月期	2,000,000株
② 期末自己株式数	2023年6月期2Q	600株	2022年6月期	600株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期2Q	1,999,400株	2022年6月期2Q	1,999,400株

(注) 当社は、2021年10月5日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(2022年7月1日から2022年12月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症対策も緩和の動きが見られ、経済活動の正常化に向かいつつあります。一方で、資源価格の高騰や急激な為替変動等による物価上昇には十分注意すべき状況です。

当社が属するITセキュリティ業界におきましては、新型コロナウイルス感染症対策によって活発化した「テレワーク」導入の動きもひと段落しております。一方で、警察庁による調査資料「令和4年上半年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」によると、警察庁が探知した不審なアクセス件数が高水準で推移していることや、「ランサムウェア(注)」による実際の被害報告が増加傾向にあること、サイバー攻撃の対象範囲が大企業のみならず、サプライチェーンである中小企業にも拡大していること等が報告されており、サイバー攻撃の脅威は深刻な情勢です。このような背景からITセキュリティの重要性は広く認識され、ITセキュリティ製品の需要が拡大しています。

このような市場・経営環境の中で、当社の主力製品「PassLogic(パスロジック)」は、業務システムやクラウドサービスへのリモートアクセスや、Windows端末へのログインにおいて、「不正アクセス防止に最適な本人認証システム」として、新規顧客の獲得及び既存顧客による追加案件獲得に向けた営業活動や、PassLogic利用環境の構築案件等を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は172,736千円(前年同期比19.1%減)、営業利益は27,625千円(前年同期比38.2%減)、経常利益は32,123千円(前年同期比34.6%減)、四半期純利益は37,124千円(前年同期比19.1%減)となりました。なお、投資有価証券売却益34,571千円を特別利益として計上しております。

当社の事業セグメントは、自社製品開発事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(注)ランサムウェアとは、企業や官公庁、自治体、病院等の業務システムに侵入し、情報資産を暗号化して利用不可能な状態にしたうえで、それを復元することと引き換えに金銭等を要求するソフトウェア、またはこういったソフトウェアを利用した攻撃のことをいいます。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は225,935千円で、前事業年度末に比べ75,573千円減少しております。預け金の減少51,670千円、現金及び預金の減少22,086千円が主な変動要因であります。

##### (固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は440,330千円で、前事業年度末に比べ77,968千円増加しております。投資有価証券の増加69,570千円、ソフトウェア仮勘定の増加19,724千円、繰延税金資産の減少5,939千円、ソフトウェアの減少3,421千円が主な変動要因であります。

##### (流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は203,100千円で、前事業年度末に比べ8,954千円減少しております。前受収益の減少10,835千円、未払法人税等の減少2,231千円、未払費用の増加2,054千円が主な変動要因であります。

##### (固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は55,689千円で、前事業年度末に比べ2,391千円減少しております。長期借入金の減少4,765千円、繰延税金負債の増加2,373千円が変動要因であります。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は407,475千円で、前事業年度末に比べ13,740千円増加しております。その他有価証券評価差額金の増加14,604千円、繰越利益剰余金の減少2,668千円、利益準備金の増加1,804千円が変動要因であります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末と比較して22,086千円減少し、58,200千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下の通りであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は73,371千円(前年同期比19,430千円増)となりました。主な変動要因は、税引前四半期純利益55,703千円、預け金の減少額51,670千円、法人税等の支払額20,220千円、減価償却費の計上16,875千

円、前受収益の減少額10,835千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は52,704千円(前年同期比9,185千円減)となりました。これは、投資有価証券の取得による支出156,122千円、投資有価証券の売却による収入132,459千円、無形固定資産の取得による支出29,040千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は42,753千円(前年同期比40,516千円減)となりました。これは、配当金の支払額37,988千円、長期借入金の返済による支出4,765千円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

2023年6月期の通期の業績予想につきましては、2022年8月15日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,286	58,200
売掛金	32,049	28,899
前払費用	8,913	9,208
預け金	178,628	126,957
その他	1,629	2,668
流動資産合計	301,508	225,935
固定資産		
有形固定資産		
建物	14,309	14,309
減価償却累計額	△1,419	△1,920
建物(純額)	12,890	12,389
構築物	815	815
減価償却累計額	△31	△58
構築物(純額)	783	756
工具器具備品	308	308
減価償却累計額	△51	△102
工具器具備品(純額)	257	205
土地	31,572	31,572
有形固定資産合計	45,504	44,924
無形固定資産		
ソフトウェア	51,333	47,912
ソフトウェア仮勘定	17,071	36,796
無形固定資産合計	68,405	84,708
投資その他の資産		
投資有価証券	223,364	292,934
差入保証金	17,822	16,764
長期前払費用	1,326	999
繰延税金資産	5,939	—
投資その他の資産合計	248,452	310,697
固定資産合計	362,362	440,330
資産合計	663,870	666,265

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	11,436	11,436
未払金	11,375	12,349
未払費用	25,594	27,649
未払法人税等	19,468	17,237
未払消費税等	5,034	5,114
前受収益	121,826	110,991
その他	17,319	18,322
流動負債合計	212,054	203,100
固定負債		
長期借入金	58,081	53,316
繰延税金負債	—	2,373
固定負債合計	58,081	55,689
負債合計	270,135	258,790
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金		
利益準備金	23,195	25,000
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	255,591	252,923
利益剰余金合計	278,787	277,923
自己株式	△240	△240
株主資本合計	378,547	377,683
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,187	29,791
評価・換算差額等合計	15,187	29,791
純資産合計	393,735	407,475
負債純資産合計	663,870	666,265

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	213,392	172,736
売上原価	62,161	49,844
売上総利益	151,231	122,891
販売費及び一般管理費	106,534	95,265
営業利益	44,696	27,625
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4,949	4,910
その他	64	220
営業外収益合計	5,013	5,131
営業外費用		
支払利息	353	425
支払保証料	205	180
その他	55	26
営業外費用合計	614	633
経常利益	49,095	32,123
特別利益		
投資有価証券売却益	21,394	34,571
特別利益合計	21,394	34,571
特別損失		
投資有価証券売却損	—	10,992
事務所移転費用	1,133	—
特別損失合計	1,133	10,992
税引前四半期純利益	69,356	55,703
法人税、住民税及び事業税	28,381	17,989
法人税等調整額	△4,932	589
法人税等合計	累計23,448	18,578
四半期純利益	45,907	37,124

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	69,356	55,703
減価償却費	22,511	16,875
受取利息及び受取配当金	△4,949	△4,910
支払利息	353	425
事務所移転費用	1,133	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△21,394	△23,579
売上債権の増減額 (△は増加)	△22,224	3,150
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△977	80
未払費用の増減額 (△は減少)	2,214	△1,503
預け金の増減額 (△は増加)	△24,423	51,670
前受収益の増減額 (△は減少)	4,150	△10,835
その他	25,400	1,996
小計	51,152	89,074
利息及び配当金の受取額	4,949	4,910
利息の支払額	△338	△392
事務所移転費用の支払額	△1,133	—
法人税等の支払額	△3,005	△20,220
法人税等の還付額	2,316	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,940	73,371
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39,839	—
無形固定資産の取得による支出	△16,022	△29,040
投資有価証券の取得による支出	△61,103	△156,122
投資有価証券の売却による収入	67,535	132,459
差入保証金の返還による収入	9,359	—
その他投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,448	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,518	△52,704
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入による収入	80,000	—
長期借入金の返済による支出	△40,250	△4,765
配当金の支払額	△41,987	△37,988
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,237	△42,753
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,184	△22,086
現金及び現金同等物の期首残高	56,715	80,286
現金及び現金同等物の四半期末残高	64,899	58,200

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27－2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期財務諸表への影響はありません。